

20-045

近世 22.6-20-045

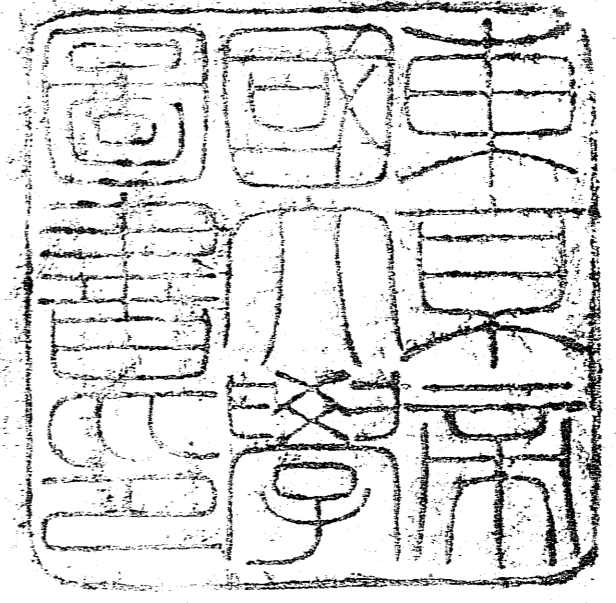
# 鎌倉三代記

享保三年戊戌正月吉日

美座  
豊村上郎右衛門

美座  
豊村上郎右衛門

標總



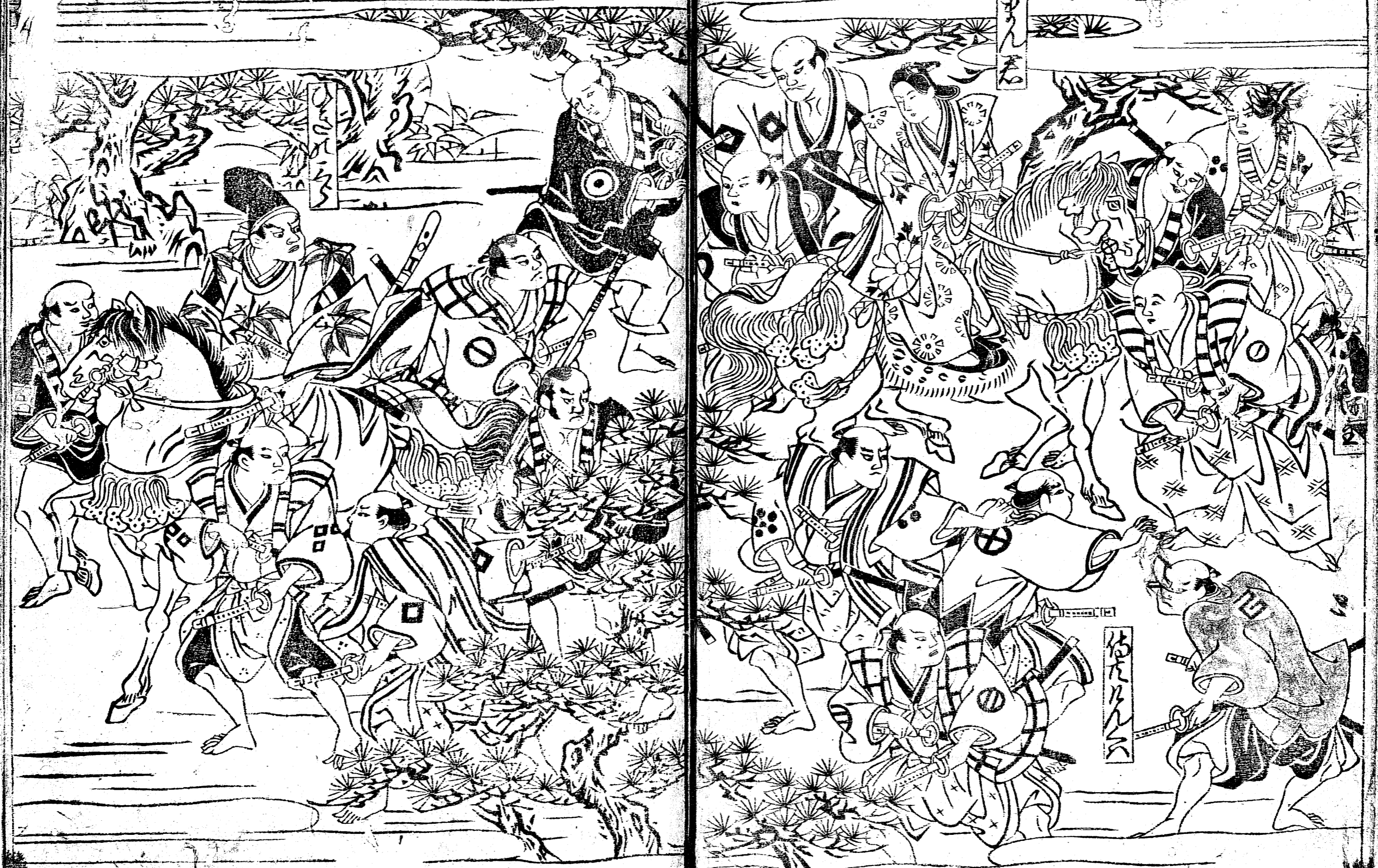
源倉三代紀

豊行上野女掾

作有る頼朝の嫡子源の頼家公女の内お守や成  
治の天下に女将たりとて酒喜好まは長くさむ  
傷人志流よ花の代の後よりあつて政事并私お説  
代お礼とあつらん事お出つて忠長頼朝れ奉感知  
重志君并出練成中おれれや比企れ頼官父子忠  
忠誠と頼朝の頼家と母の娘と仰り君よ是上其  
是上お守よあんど威を養ひ母よとむり春はさ  
田のぬあ長を徳成わたりし朝比奈の男力と  
是長比企の親友とて天下大業と治ひは頼  
影 源倉三代紀繪巻一巻 是次名付也



亂序





舟中

舟中



舟中

舟中



